

新潟大学における女性研究者の育成・支援

【組織概要】

新潟大学は、平成19年12月に「女性研究者支援室」を設置し、翌年「キャンパスシッターによる育成・支援プラン」が平成20年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択されたことを推進力として、さまざまな環境整備を行ってきた。事業終了後の平成24年4月には男女共同参画推進室として再編し、専任教員2名を配置して、「両立支援」と「次世代育成」の2つの事業を継続発展させている。平成26年5月現在、本学の女性教員比率は15.2%であるが、初の女性理事就任もあり、女性研究者のさらなる『育成と支援』を推進強化している。

【主な取組み】

1. 仕事と生活の両立支援

①「新大シッター」による大学構内での一時的な保育支援

保育の利用は年々増加しており、休日の保育支援を求める教員にとってなくてはならない制度となっている。平成25年度の運用実績は、利用した教員はのべ39名、保育した子どもはのべ59名で支援時間は272時間、担当した新大シッターはのべ106名である。当初保育していた子どもたちは成長して小学生となり、新規利用者が増えている。新大シッターの保育は地域等でも周知されるようになり、入学前から活動意思を持っていた学生が増えつつある。

②研究補助者の雇用制度

平成25年度はのべ14名、平成26年度はのべ12名の支援を行った。新規応募者が増え、制度の継続が強く望まれていることから、今後ますますニーズが高まると考えられる。

③女性のキャリアアップ・地域連携事業

医師キャリア支援センターや新潟県との連携による 医学生対象キャリア形成支援セミナー「懇話会」、「デートDVセミナー」、女性教員ネットワークの形成を目的とした「男女共同参画勉強会」や「ランチオンミーティング」、などを企画実施している。

2. 次世代の女性研究者育成支援

①「新大Wits」による「サイエンス・セミナー」

女性研究者の裾野拡大と育成を目的として、大学院生“新大Wits”が中高生に対してセミナーを実施している。平成25年度は、のべ27校3,826名の中高生が受講した。受講者や学校関係者から高い評価を受けるとともに、担当した大学院生のキャリアアップにつながっている。

②女子中高生の理系進路選択支援

JSTの女子中高生の理系進路選択支援プログラム「あたりまえに理科しよう！放課後リケジョ塾 in 新潟」により、中学校・高校訪問型の理系進路相談会を定期開催している。また、長岡工業高等専門学校、新潟大学理学部・工学部・農学部との連携による女子中高生向けイベントを多数実施している。

③次世代育成に関わる授業の開講

学部では「研究者の仕事と生活」（1単位）、「大学生のための役に立つ育児学」（1単位）、大学院自然科学研究科では「ワーク・ライフ・バランス」（1単位）を開講している。

3. その他

新たな取り組みとして、国際的に活躍する女性研究者の育成・両立支援を目的とした国際研究活動保育支援の制度化へ向けた準備を進めている。

【連絡先】 新潟大学男女共同参画推進室

TEL : 025-262-7570

FAX : 025-262-7572

E-mail : gender@adm.niigata-u.ac.jp

URL : <http://www.niigata-u.ac.jp/geo/index.html>



新潟大学における女性研究者の育成・支援

新潟大学 男女共同参画推進室

組織概要

● 沿革

平成20年度に科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択され、女性研究者の『育成と支援』の取組みを開始。
 平成22年度に男女共同参画担当理事が就任、26年度には初の女性担当理事が就任し、大学中期目標に「男女共同参画の推進のための環境整備」が盛り込まれ、男女共同参画推進に向けてさまざまな取組みをしている。

● 推進の柱は「次世代育成」と「両立支援」

次世代の女性研究者を育てる支援、教職員のワーク・ライフ・バランスのための両立支援という2本柱で運営している。

● 新潟大学 男女共同参画基本方針

1. 男女共同参画の視点に立った教育・研究環境の整備
2. 男女共同参画の視点に立った就業環境の整備
3. 積極的な女性登用などのポジティブアクションの取組の推進
4. 仕事と家庭生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を図るための支援
5. 次世代育成のための支援

次世代の女性研究者育成支援

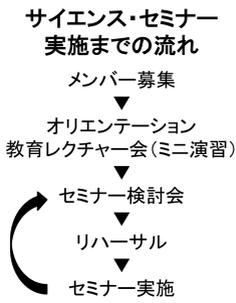
新大Witsによるサイエンス・セミナー

大学院生が中高生に行く出張・模擬講義

- 「大学院生の研究内容＋キャリア経験」を毎年3000人の中高生が受講
- 自然科学、医学、歯学、教育学、人文社会科学、哲学など、様々な分野の男女大学院生約20名が活動
- 中高生の科学や研究への興味関心のアップ
- 大学院生のプレゼンスキルアップトレーニング

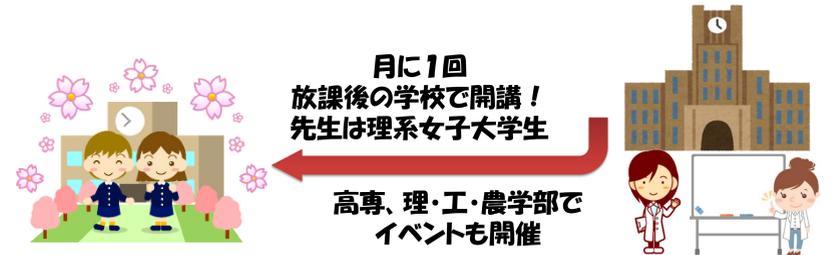


研究分野の異なる大学院生同志が、学会発表資料などを使って、本気で研究を紹介しよう“セミナー検討会” “科学コミュニケーション”の第一歩



女子中高生の理系進路選択支援

あたりまえに理科しよう！放課後リケジョ塾 in 新潟



- 理系女子の視点で大学での勉強や研究を紹介
- 少人数で定期的に開催することで、興味の持続をねらう

＜各イベントでは、リケジョ塾紹介パネルも展示しました＞



学部・研究科での授業科目の開設

研究者ロールモデルの提示と男女共同参画意識啓発

- 学部生向け「大学生のための役に立つ育児学」(1単位)
- 学部生向け「研究者の仕事と生活」(1単位)
- 自然科学研究科大学院生向け「ワーク・ライフ・バランス」(1単位)



女性研究者国際研究活動支援制度(整備中)

国際的に活躍できる女性研究者の育成と両立支援

- 研究活動で海外へ出張する際にかかる保育経費等の一部を助成(女性研究者対象)
- 研究活動による海外の研究機関の訪問の際に、女性研究者研究支援・男女共同参画の視察・報告等に対する助成(男女研究者対象)

平成26年度はモニター研究者の協力により試行中

仕事と生活の両立支援

新大シッターの保育(土・日・祝日のみ)

“新大シッター”の認定

「大学生のための役に立つ育児学」1単位

「技術演習」

一時預かり保育研修

「認定証授与」



新たな男女共同参画モデル、大学における保育モデルとして安定的に運用し、新大シッター7期生を養成中。 認定者総数：181名

研究補助者の雇用制度

研究者のワーク・ライフ・バランスを実現

| | 25年度 | | 26年度 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 1期 | 2期 | 1期 | 2期 |
| 被支援研究者 | 6 | 8 | 6 | 6 |
| | 新規2 | 新規3 | 新規4 | 新規1 |
| | 継続3 | 継続4 | 継続4 | 継続5 |
| 分野 | 医歯学系5 | 医歯学系7 | 医歯学系8 | 医歯学系5 |

女性研究者の生活面・精神面が安定 ⇒ 研究業績UP！

地域連携による男女共同参画社会の推進

燕市男女共同参画推進委員長、佐渡市男女共同参画委員
 シンポジウム開催、講演活動など

- 大学生とハッピーパートナー企業が語る会シンポジウム
- 新潟市男女共同参画推進センター アルザにいがた主催 女性の生き方講座 講師「多様な生き方にYES」
- 新潟県女性財団地域セミナー in 三条市 / in 新発田市 「働く女性のための健康セミナー」
- 新潟県女性財団地域セミナー in 三条市 / in 新発田市 「働く女性のための健康セミナー リプロダクティブヘルス」
- 長岡技術科学大学 講演「男女共同参画とワーク・ライフ・バランス」他

女性のキャリアアップ事業

キャリア形成・ネットワーク支援 勉強会や懇話会を企画

- 女性のキャリアアップセミナー「コーチングマネジメント」
- 女性医師支援として医師キャリア支援センターや新潟県と連携した医学生へのキャリア形成支援セミナー“懇話会”
- 男女共同参画勉強会「性差の科学」
- 「デートDVセミナー」

